

## 令和4年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)事業概要(案)

No.	事業名	区分	事業区分	事業目的	R3年度実施(予定)状況	これまでの成果・課題など/R4年度の方向性	事業費(千円)	R4年度事業内容
1	「農」に親しむ	継続	区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を活かした取組	市街地周辺に農地が近接し、豊かな農産物を身近に感じることができる江南区の特性を活かし、区民がより「農」に親しむことで、地元生産者や農産物への理解を深めるとともに、更なる地産地消の推進を図る。	○梅まつり ・R4年3月開催予定で実施検討中 ○映像制作 ・江南区特産の農産物を使ったレシピ紹介の映像制作中 ○栽培チャレンジ ・応募者によるベビーリーフ等のプランター栽培を実施中(参加者20名) ○市民連携 ・あけぼのクラブと実行委員会を設立し事業実施中(名称:クラフト納豆プロジェクト実行委員会)	【これまでの成果・課題など】 好評を博した収穫体験やルレクチェPRイベント「よんでるないと」等、体験・参加型の企画がコロナ感染の影響で実施できない状況となっている。  【R4年度の方向性】 梅まつりの実施を含め、コロナ感染の状況を視野に入れつつ、改めて事業内容を精査し、区民が農に親しむ機会の創出に努める。市民との協働により、新たな商品開発や農産物の販売拡大に資するマーケティングを実施する。	2,000	○梅まつり ・R5.3開催予定 ○映像制作 ・江南区の「農」を紹介する映像を制作 ○栽培チャレンジ ・区民が栽培や収穫に触れあう機会づくり ○市民連携 ・農産物を活用した商品開発や販売拡大に向けたマーケティングを市民との協働で実施
2	地域ブランド「亀田縞」の販路拡大	拡充	区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を活かした取組	地域ブランドとして確立した亀田縞を、更に地域のアイデンティティへと昇華させ、地域での活用の拡大を目指すことで地場産業の振興と発展につなげる。	○産地に相応しい景観づくり ・亀田縞タペストリーの設置店舗を募集し、8月の亀田縞利用促進協議会で10か所選定。 ○新たな活用、付加価値づくり ・亀田縞の活用アイデアとして、事業者を対象としたチャレンジ部門と、区内小学生を対象としたドリーム部門を募集。チャレンジ部門は4提案を採択し、ドリーム部門は14点の入賞作品を決定。(応募状況 チャレンジ部門:5提案、ドリーム部門:550点) ○地域アイデンティティの確立 ・区内の小、中学校の総合学習などへの支援。(亀田中、亀田小、亀田東小、亀田西小、早通小)	【これまでの成果・課題など】 亀田縞タペストリー設置拡大や、区民を巻き込んだアイデア募集などで、今まで以上に日常の中で亀田縞を身近に感じることが出来る環境を提供できた。  【R4年度の方向性】 多様なパートナーとの連携を始め、引き続き新たな活用、付加価値づくりに向けて取り組みを実施する。 亀田縞を核としつつ、併せて江南区の魅力を発信する情報紙の編集発行をすることで、更なる江南区ファンの拡大を目指す。	3,000	○亀田縞利用促進協議会により事業を実施 ・亀田縞タペストリー設置拡大 ・亀田縞を核とした区の魅力の発信(ミニ情報紙発行) ・異業種など多様なパートナーとの連携と、事業化に向けた取り組み ・区内小学校の亀田縞をテーマとした総合学習への支援
3	文化芸術の創造・発信	継続	区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を活かした取組	江南区の文化芸術の発信拠点である江南区文化会館において、質の高い文化芸術作品を区民に提供し、文化の創造と振興を図る。	公募型プロポーザル方式により提案を募集し、選定委員会において委託業者を選定し、契約。令和4年2月20日(日)に、「謎解きクリエーター松丸亮吾トークショー」を開催予定。(チケット販売予定枚数 380枚)	【これまでの成果・課題など】 毎回多くの区民の方から観覧いただき、アンケート結果をみると満足度は高く、著名人による公演を望む声が多く寄せられている。ここ数年は、講演会が続いているため、多様な区民の関心に応えられていないことが課題。  【R4年度の方向性】 次年度もコロナ感染対策を講じながら、事業を実施する。	2,250	○事業の企画・運營業務委託募集要項に、著名人だけではなく、区(市)に縁のあるアーティスト等による公演の企画も可能であることを明記する。
4	地域商業活性化支援	継続	区独自の課題解決に向けた取組	超高齢化社会において地域コミュニティの要となる地域商業の維持・存続を図りながら、併せて拠点商業地及び三・九の市の賑わいづくり・活性化を推進する。	○亀田商店街周辺での取り組み(亀田三・九の市及び本町商店街誘客推進協議会) ・三・九の市に対する関心の喚起のため、「かめだサンキュー・マルシェ」を開催。亀田地区以外の人気銘菓や総菜の販売、キッチンカーが出店した。 ・昨年度に引き続き、商店街に風鈴を掲出する風鈴まつりを実施。なお、本年度は協力店舗内での絵付け体験を加え、参加型の企画に進化 ○区全体の商業活性化の取り組み ・実行委員会に参画し、区内のローカルコンテンツや食の情報などを区内外に発信。(江南Komachi 発行)	【これまでの成果・課題など】 拠点商業地の位置付けである亀田地区に限定して事業を実施してきたが、新たに区内5地区で連携した取り組みも実施。  【R4年度の方向性】 既存実行委員会に参画することで、江南区の5地区それぞれの特性を活かしつつ、区全体の地域商業活性化に資する事業を実施する。	2,500	○江南区魅力彩発見実行委員会に参画し、区内全体の商業の活性化につながる支援、事業に取り組む。

令和4年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)事業概要(案)

No.	事業名	区分	事業区分	事業目的	R3年度実施(予定)状況	これまでの成果・課題など/R4年度の方向性	事業費(千円)	R4年度事業内容
5	江南区ぐるっと巡って発見・体験ツアー	継続	区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を活かした取組	固有の文化や伝統を有する5地区で構成される江南区で、それぞれの観光資源を発掘、深掘りを行うとともに、その情報を発信・提案することで集客と関係人口の拡大を図る。	○区内の魅力発信事業 ・「江南区をPR」魅力発信プロジェクトとの連携によるフォトコンテスト作品を活用した卓上カレンダーを制作。「江南区をPR」魅力発信プロジェクトの応援物資と共に市出身学生に送付したほか、今後主催事業で配布予定。 ・市民との協働によるまち歩きの実施 ・「バスでぐるっと際(キワ)めぐり2021」バスツアーの実施(参加者19名)	【これまでの成果・課題など】 これまで地域に埋もれてきた祭礼やイベントをクローズアップし、2次交通を用意するなど、関心の喚起とブラッシュアップに貢献できた。 コロナ感染の拡大以降、様々な祭礼やイベントが中止を余儀なくされたため、これらの実施を前提とした企画が不可能となった。  【R4年度の方向性】 新型コロナウイルス感染状況を視野に入れつつ、いわゆるアフターコロナを想定した魅力発信体験ツアー等の増強を図る。	1,400	○区の魅力の発信 ・二次交通支援 ・区の魅力をめぐる発見体験ツアー ・まち歩き  ※区の魅力である各種祭りやイベントの関係者と連携し、新しい生活様式での交流・関係人口の拡大などに取り組む。  ※鮭も含めた区内にある様々なコンテンツについて、区の魅力としての活用を検討していく。
6	北方文化博物館を活用した文化発信事業	継続	区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を活かした取組	国登録有形文化財である県下最大級の豪農の館「北方文化博物館」を舞台に、地域が誇る伝統・文化に触れる機会を提供することで、江南区に対する愛着の向上を図る。	○江南区民(在住者)を対象とした北方文化博物館への無料入館期間を設定。 (11月27日(土)～12月5日(日)9日間) ○期間中、北方文化博物館にて企画展「豪農のお宝展」を開催。闇夜桜扇面蒔絵書棚(やみよざくらせんめんまきえしよだな)など、江南区に関わりのある名品を数多く展示。 (期間中の入館者数 1,886人 (うち江南区民 838人))	【これまでの成果・課題など】 新規事業につき記載事項なし  【R4年度の方向性】 コロナ感染の状況や市民との連携を視野に入れつつ、引き続き事業を実施する。	1,700	○北方文化博物館、地元の神楽団体等と連携し、北方文化博物館野外ステージを発表の場に活用していく。また出演団体にアンケートを実施し、各団体が抱える問題点を整理する。 ○学校、団体と連携し、中学生に地元の伝統芸能を身近に感じてもらえる場を提供していく。
7	こあがの川フィッシング大会	継続	区の自然・風土を活かした取組	小阿賀野川などの水辺空間を活用し、新たな魅力の創出と交流人口の増加につなげる。	○こあがの川フィッシング大会の開催 ・場所:小阿賀野川河川公園酒屋広場 ・開催日:9月12日(日) ※両川コミ協主催のカヌー体験会と同日開催 ・内容:インストラクターの指導のもと釣りを通じて水辺空間の楽しみ方を学ぶ ・参加者数:小学生親子ペア10組 ※8/2募集終了  【感染症対策】 ・受付時の体調確認・検温の実施 ・来場者の人数制限(1組2名) ・間隔を開けた釣りの実施  ●県内の感染者数の急増に伴い、全県に特別警報が発出されたことを受け、中止とした。	【これまでの成果・課題など】 R2、R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から両川コミ協主催のカヌー体験会が中止となり、同日開催を検討していた本大会も中止とした。  【R4年度の方向性】 ・まちづくり部会でのご意見を踏まえ、内容・規模について検討のうえ、実施する予定。	200	○こあがの川フィッシング大会の開催 ・場所:小阿賀野川河川公園酒屋広場 ・開催日:9月第2日曜日 (まちづくり部会でご意見をいただいた複数回開催について今後検討) ※9月第2日曜日は、両川コミ協主催のカヌー体験会と同日開催 ・内容:インストラクターの指導のもと、釣りを通じて水辺空間の楽しみ方を学ぶ ・参加者数:小学生親子ペア10組/回

令和4年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)事業概要(案)

No.	事業名	区分	事業区分	事業目的	R3年度実施(予定)状況	これまでの成果・課題など/R4年度の方向性	事業費(千円)	R4年度事業内容
8	いい汗 いい食 江南健幸ライド	継続	区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を活かした取組	阿賀野川、小阿賀野川、信濃川など、水と緑のネットワークを形成する資源を活用し、整備したサイクリングロードの利用促進に取り組みとともに健康づくりの推進や交流人口の拡大を図る。	○いい汗いい食江南健康ライドの開催 ・開催日:9月12日(日) ・内容:ロングコース(約40km) ショートコース(約15km) ・参加者数:ロング160名、ショート40名 ※7月30日から8月31日まで募集(江南区民は一般に先駆けて7月28日から募集開始)  【感染症対策】 ・受付時の体調確認票の提出・検温実施 ・密にならないよう開会式を行わず、受付順に随時スタートとする。 ・食品はゴール後にお土産として提供  ●県内の感染者数の急増に伴い、全県に特別警報が発出されたことを受け、中止とした。	【これまでの成果・課題など】 ・迷いやすい場所について、コース変更および案内表示、スタッフ配置の見直しを行った。また、江南区民が参加しやすいよう先行募集枠を設けた。感染症対策を徹底し、進めていく。  【R4年度の方向性】 ・引き続き、健康増進や交流人口の拡大、江南区の魅力発信を目指し開催していきたい。	1,500	○いい汗 いい食 江南健幸ライドの開催 ・整備したサイクリングロードを利用した健康づくりの推進や交流人口の拡大に向け、今後も事業を継続していく ・感染症対策の徹底や通行の安全を確保しつつ、江南区の魅力が感じられるルートの設定や、食の提供を行う。 ・江南区民の健康増進のため、区民が参加しやすい内容やわかりやすい広報のあり方などを検討していく。
9	「江南区をPR」魅力発信プロジェクト	継続	区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を活かした取組	区民だけでなく、首都圏などの20歳代の就職活動の学生～子育て世代の若者などをターゲットに江南区の住みやすさや魅力などを発信することで、江南区への移住の促進を目指す。	○区内商工団体や区役所等で構成される江南区魅力発信プロジェクト実行委員会を設立し、事業を展開 ○区ホームページから随時情報発信 ○区内事業者から提供いただいた応援物資を江南区出身の学生へ送付予定 ○江南区親善大使のラインスタンプを業者と連携し作成予定	【これまでの成果・課題など】 新規事業につき記載事項なし  【R4年度の方向性】 今年度の実施内容を踏まえ、魅力発信、移住促進につながる取り組みを実行委員会で実施する。	1,200	○区内商工団体や区役所等で構成される江南区魅力発信プロジェクト実行委員会にて事業を展開(ふるさと江南区宅配便を継続、魅力発信動画コンテスト、県外大学生同士が交流する機会を設ける予定) ○区ホームページから随時情報発信
10	みんなで語り、考える、使いやすい公共交通	継続	区独自の課題解決に向けた取組	江南区は区バスのほか、複数の住民バスが運行していることから更なる連携強化や啓発活動を通じ、区民がより使いやすい公共交通の実現につなげる。	○小学生の利用促進のため、小学校1校で区バス乗車体験学習会を実施 ○高齢者の利用促進のため、シニア半わりりゅーと等の作成支援や、地域の茶の間での勉強会を開催予定 ○公共交通の利用状況の把握や利便性向上のため、アンケート調査や区・住民バスの共通回数券の実施を予定	【これまでの成果・課題など】 ・大江山、両川地区での新たな移動手段の検討や社会実験を実施。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、区バス・住民バスの乗車数が減少し、コロナ禍以前に回復していない。  【R4年度の方向性】 ・地域の実情に応じた移動手段の構築や利用促進につながる取り組みを実施。 ・過度なマイカー依存から公共交通の利用転換が促進されるよう意識・啓発を引き続き実施。	700	○小学生の利用促進のため、小学校で区バス乗車体験学習会を実施 ○高齢者の利用促進のため、地域の茶の間など高齢者が集まる場所で公共交通の学習会を開催、シニア半わりやシルバーチケットの周知及び作成支援を実施 ○コロナ後を見据え、利用者を再増加させるため、区内外に対しての周知を強化 ○SDGsの目標達成のため、江南区ノーマイカー運動を実施

令和4年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)事業概要(案)

No.	事業名	区分	事業区分	事業目的	R3年度実施(予定)状況	これまでの成果・課題など/R4年度の方向性	事業費(千円)	R4年度事業内容
11	江南区安心・安全な地域づくりの推進	継続	区民との協働を目指した取組	三方を川に囲まれ浸水被害や河川の氾濫などが懸念される江南区において、区民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識の醸成や地域防災力の強化を図り、安心安全な地域づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミ協委託事業に対する申請数は4件</li> <li>○モデル避難所運営委員会の結成、訓練を実施。避難所運営体制連絡会にて、事例を踏まえ、各避難所への水平展開を予定。</li> <li>○避難所現地検討会后、物品の状況を確認し、必要物品を整備予定。</li> <li>○区内公立3中学校でジュニアレスキュー隊育成講習会開催済み。下半期に3校実施予定。</li> </ul>	<p>【これまでの成果・課題など】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの地域は自分たちで守るという意識の醸成や資機材の整備により安心・安全な地域づくりが図られている。</li> <li>・若年層や自治会、コミ協等、幅広い世代で防災意識の啓発は図られてきてはいるものの、感染症の影響により、防災訓練の実施状況が停滞している。</li> </ul> <p>【R4年度の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミ協委託事業は、区切りの年度であるため見直しの検討を行う。</li> <li>・防災意識や地域防災力の強化を引き続き実施予定。</li> </ul>	2,600	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分たちの地域は自分たちで守るという意識の醸成と安心・安全な地域づくりを推進するために必要な資機材の整備等を支援する。</li> <li>○豪雨災害が全国で多発している状況を鑑み、周囲を河川に囲まれている江南区において、円滑な避難所運営ができる体制の構築を進めるための講習会を実施する。また、特に洪水の危険性が高い地域性を考慮した物品の整備を実施する。</li> <li>○江南区では自主防災組織結成率(世帯数比8区中8位)や防災訓練実施数が停滞している。さらなる地域防災力の向上においては、自主防災組織の訓練活性化と併せ、地域に住んでいる若年層における防災教育・意識の啓発がより必要であることから、区内公立中学校でのジュニアレスキュー隊育成講習会を実施する。</li> </ul>
12	江南区ふれあい・ささえあいプランの推進	拡充	区民との協働による取組	亀田駅東側は福祉施設や特別支援学校等が集まる地域で、周辺には亀田公園、高等学校等があり、こうした江南区の地域特性を生かし、区民・福祉団体・コミ協・区社協・区役所等が協働することで、区内の地域福祉を推進し、江南区地域福祉計画の基本理念「みんなでささえあい安心して暮らせるまち江南区」の実現を目指す。	<p>【R3年度実施(予定)状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ふれあい・ささえあい交流事業については、10月10日(日)に新潟ふれ愛プラザ・亀田駅前地域交流センターで開催。あわせて、障がい者アート展を10月10日～10月31日の間、亀田駅自由通路を中心に開催。</li> <li>○障がい者アートの巡回展示については、12月8日から27日まで横越出張所で展示、令和4年2月15日から3月4日まで曾野木公民館で展示予定。</li> <li>○江南区民福祉大会については、12月5日(日)に開催。</li> <li>○障がい者施設のネットワークの推進、授産品の魅力向上については、授産品の販売やHP等を活用した商品の魅力紹介を行う予定。</li> <li>○福祉センター内「子どもたちの居場所」活性化の推進については、10月にイベントを開催。また、令和4年2月23日にイベントを開催予定。</li> <li>○フレイル予防訪問については9月～11月に個別訪問を実施。</li> <li>○思春期の子育て体験については、横越中学校で令和4年1月14日に開催予定。</li> </ul>	<p>【これまでの成果・課題など】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ふれあい・ささえあい交流事業については、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により、中止。令和3年度は開催時期を変更し、障がい者アート展を同時開催とした。規模を縮小しての開催だったが、アンケート結果では、イベントについての満足度が5点満点中4.3点となり、多くの方に満足していただけた。</li> <li>○アート展については、亀田駅だけでなく、広く江南区内数か所でも巡回展示を実施してほしいとのご意見をいただいております。試行的に展示予定。</li> <li>○江南区民福祉大会は令和2年度に引き続き、定員を大幅に減らして開催。認知症をテーマとした講演会を行い、アンケートでは、「大変分かりやすくよく理解できた」「認知症になってもこれまでと変わらず生活できる地域にしていきたい」などの声が聞かれた。</li> <li>○福祉センター内「子どもたちの居場所」活性化の推進については、10月27日にハロウィンイベントを開催。久しぶりのイベントであったが、約50名の参加があり、みんな楽しんでいた。</li> </ul> <p>【R4年度の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○アンケートや参加者の声をもとに、課題の洗い出しを行う。</li> <li>○引き続き、地域福祉及び共生社会の推進に向け、区民・福祉団体・コミ協等と協働して各種事業を実施していく。</li> <li>○思春期の子育て体験事業についてはR3までに区内の全中学校に訪問し実施を行った。今後は区内の中学校・高等学校で実施している「思春期健康教室」へ統合する。</li> </ul>	4,290	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ふれあい・ささえあい交流事業については「こうなんふれ愛まつり」を9月下旬に開催予定。</li> <li>あわせて、共生のまちづくりを推進するため、障がい者アート展も同時開催予定。</li> <li>○江南区内数か所で障がい者アートの巡回展示を行う予定。</li> <li>○江南区民福祉大会については、12月上旬に開催予定。</li> <li>○障がい者施設のネットワークの推進、授産品の魅力向上については、引き続き授産品の販売や商品の魅力紹介を行う予定。</li> <li>○福祉センター内「子どもたちの居場所」活性化の推進については、子どもたちが企画・運営するイベントを8月に開催予定。</li> <li>○フレイル予防訪問については9月から11月に実施予定。(フレイルチェック事業と同じ対象地域とする。)</li> </ul>

令和4年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)事業概要(案)

No.	事業名	区分	事業区分	事業目的	R3年度実施(予定)状況	これまでの成果・課題など/R4年度の方向性	事業費(千円)	R4年度事業内容
13	地域で見守り 応援事業~見 守る目、見守 る心~	継続	区民と の協働 による取 組	地域の中で、認知症高齢者を支援したい人、子育て応援をしたい人を掘り起こし、区民・民生児童委員・地域教育コーディネーター・コミ協等が協働して認知症高齢者や子育てを見守ることで、高齢者や子育て世代を支え、安心して暮らせる地域の実現を目指す。	○江南区見守り隊メール(メール配信)メール登録数187件 メール配信14件(不審者11件、はいかい2件、その他1件) ○江南区見守りシール交付事業(QRコード)見守りシール交付済数8人 福祉関係者のほか、近隣警察署、消防署、区だより等で広く周知活動実施 ※メール配信・見守りシールの件数、人数はいずれも10月末現在 ○子育て応援団 新規登録者136人 ○子育て交流会を12月2日に開催。 ○江南区パパノートの配付 237人 ※子育て応援団・パパノートの配布人数はいずれも9月末現在	【これまでの成果・課題など】 ○市民向けメール配信、見守りシール伝言板は、警察、消防等緊急時を担う組織に周知を図り、良い取り組みであるとの声を多数いただいた。また、メール登録者に届く広告メールが多いとの意見があった。 ○認知症の正しい理解や見守りシールを偏見なく身に着けていただくための周知方法と内容が課題 ○子育て応援団への登録を自治協、コミ協、子育て支援施設等へ周知した。  【R4年度の方向性】 積極的な広報を継続し、区民の理解と登録者、申請者、参加者の増加を図る。 ○パパノートについてリニューアルを検討していたが、R4より、母子手帳アプリ「母子(ぼし)モ」の全市活用が予定されており、パパノートの内容に対応しているためアプリへ移行する。	660	○江南区見守り隊メールは積極的な広報を継続し、登録者の増加を図る。 ○江南区見守りシール交付事業は、対象者をより多く申請に結び付けるため、介護認定調査内容を踏まえた申請勧奨を実施。また、積極的な広報を継続するとともに、 <u>見守りシールを身に着けた人を正しく理解すること、シールを偏見なく身に着けることについての認知を広める。</u> ○すでに子育て支援者がいるが、江南区子育て応援団として具体化することで一体的に地域で応援する機運を醸成できた。引き続き、子育て応援団の登録の周知と促進を行う。 ○子育てに関する交流会を開催し、支援を必要とする人が望んでいる支援を受けられるよう仕組みづくりを行う。 また、オンラインを活用した育児相談等についても機会を通じてニーズを把握し、検討を進める。